



定量評価						
指標1	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	%				
	実績	%				
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円	2,924	2,955	2,700		
単位当たり経費	千円/単位	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率	%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

指標2	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	%				
	実績	%				
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円	2,924	2,955	2,700		
単位当たり経費	千円/単位	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率	%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

定性評価		
過年度の実施内容		
<p>定時放送(5分番組)全53回 放送内容 ア.浜松市内の道路・河川工事情報 イ.道路・河川に関する情報 ウ.交通安全等の啓発及びイベント等のPR エ.道路・河川のイメージアップに繋がるもの オ.その他適宜必要な情報 定時放送(2分番組)全206回 放送内容 ア.浜松市内の道路・河川工事情報 イ.道路・河川に関する情報 FM Haro! 情報誌「ハロナビ」掲載 4月</p>		
事前評価	必要性	(分析・理由)
	A	<p>A 高い B ↑ C ↓ D 低い</p> <p>道路利用者の利便性や道路の混雑を緩和し、道路環境の向上と市民生活の安全安心を確保するため、このような情報提供は必要である。</p>
事前評価	行政関与の妥当性	(分析・理由)
	B	<p>A 高い B ↑ C ↓ D 低い</p> <p>広聴広報課においては、浜松市市政放送番組(FMハロー、K-MIX、SBS)があり、また防災対策課においては、緊急情報放送システム(FMハロー)があり、それぞれ情報発信を行っている。</p>
事後評価	有効性	(分析・理由)
	B	<p>A 非常に有効 B やや有効 C あまり有効でない D 有効でない</p> <p>市民がいち早く通行止め等の規制情報を知ることは、混雑緩和に有効であるが、FMハローの午前7時30分の時間帯にどれだけリスナーの数があるかが課題であり、効果の検証を行う必要がある。</p>
事後評価	効率性	(分析・理由)
	B	<p>A 単位当たり経費が前年比マイナス B 単位当たり経費が前年とほぼ同じ C 単位当たり経費が前年比プラス D 評価できない</p> <p>前年度と比較して経費の増加はない。</p>
今後の事業展開		
規模		(分析・理由)
現状	<p>拡大・充実 現状のまま継続 縮小 廃止</p>	<p>改善を要する部分はあるが、道路・河川情報については、今後も継続していきたい。</p>
具体的な改善内容・事業の方向性等		
<p>当課としての提言 道路情報については(財)日本道路交通情報センターからの情報発信とし、河川情報及び突発情報発信として広報公聴課からの情報時間内に移行したい。</p> <p>(問題意識) 道路工事等による規制情報や異常気象による崖崩れ等の情報を、いち早く市民に知らせることは重要であるが、リスナーの数など、効果の検証については今後の課題である。また、政令市移行後は、(財)日本道路交通情報センターに情報提供を行っており、また、広聴広報課においても浜松市市政放送番組がSBSやK-MIXを通じて市民に情報提供されている。</p> <p>(想定結果) 市の実施が適当だが改善を要するもの</p>		